

5日 日曜

テモテⅡ



2:20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。また、ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用います。

2:21 ですから、だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。すなわち、聖められたもの、主人にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。

2:22 それで、あなたは、若い時の情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。

2:23 愚かで、無知な思弁を避けなさい。それが争いのもとであることは、あなたが知っているとおります。

2:24 主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍び、

2:25 反対する人たちを柔和な心で訓戒しなさい。もしかすると、神は彼らに悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださるでしょう。

2:26 それで悪魔に捕えられて思うままにされている人々でも、目ざめてそのわなをのがれることもあるでしょう。

尊いことに用いられる器となりましょう。尊いというのは、きれいな仕事というわけではありません。また高級な仕事でもありません。それは神にとって「有益」ということです。この世の価値観ではなく、神様の価値観で自分の働きを尊いものとしてゆきましょう。

争わず柔和でありましょう。訓戒することも大切ですが、柔和な心によって「神」が「悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださる」ようにしましょう。決して自分が戦ってしまわないことです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

